

第48回ガンマーフィールドシンポジウム

環境耐性機構の解明と分子育種

期日：平成21年 **7月15日(水)**、**16日(木)**

場所：**水戸三の丸ホテル**(水戸北口、徒歩1分)

主催：ガンマーフィールドシンポジウム委員会

独立行政法人農業生物資源研究所

7月15日(水)

[特別講演]

植物の鉄栄養制御の分子機構とその応用

西澤 直子(石川県立大学)

[一般講演]

ホウ素輸送の分子機構の解明とホウ素ストレス耐性植物の作出

藤原 徹(東京大学)

シロイヌナズナにおける側根発生の遺伝的制御機構

深城英弘(神戸大学)

耐旱性向上を目指したイネ根系形成機構の解析

犬飼 義明(名古屋大学)

イネの高温不稔の発生と耐性のメカニズム

松井 勤(岐阜大学)

7月16日(木)

[一般講演]

イネ穂発芽耐性QTLの単離と種子休眠機構の解析

杉本 和彦(農業生物資源研究所)

植物アセチルコリン系の環境ストレス応答

桃木 芳枝(東京農業大学)

放射線抵抗性細菌の生存戦略

鳴海 一成(日本原子力研究開発機構)

総合討論

参加費：一般¥4,000、学生¥1,000

(懇親会費：¥5,000)

(支払いはすべて当日受付をお願いします。なお学生の方は、学生証を提示して下さい。)